

『環』の公共事業構想ガイドライン評価シート

作成年月日	平成21年3月5日
作成部署	建設交通部 道路建設課

事業名	主要地方道八幡木津線(上奈良)道路新設改良事業	地区名	八幡市二階堂～内里
概算事業費	59億円	事業期間	平成11年度～平成23年度
事業概要	幅員狭小によって発生している渋滞の緩和と自転車、歩行者の安全を確保するため、バイパス道路を整備する。 道路築造工：延長 1,000m、幅員 25.5m(4車線) 両側歩道(3m)		
目指すべき環境像	本事業は、木津川左岸地域に道路を新設する工事で、地形改変を最小限に抑えるとともに、良好な生活環境の形成を図る。		
関連する公共事業	なし		

	評価項目		施工地の環境特性と目標	環境配慮・環境創造のための措置内容	環境評価
	主要な評価の視点	選定要否			
地球環境・自然環境	地球温暖化(CO ₂ 排出量等)	○	<p>現道は幅員が狭く歩道が未整備で、車の離合が困難なため、慢性的な渋滞が発生することから、車の速度低下によるCO₂の排出増加の一因となっている。</p> <p>野生生物の生育環境を保全しながら工事を実施する必要がある。</p>	<p>事業実施により、交通の円滑化が図られることから、CO₂の排出量の縮減(1,750t/年)が期待できる。</p> <p>工事中は濁水などが周辺に流出しないように実施し、野生生物の生育環境を悪化させないよう留意する。</p>	4
	地形・地質	○			3
	物質循環(土砂移動)				
	野生生物・絶滅危惧種	○			3
	生態系	○			3
	その他				
生活環境	ユニバーサルデザイン	○	<p>現道は幅員が狭く、歩道も未整備であるため、自転車歩行者の通行の安全性を高める必要がある。</p> <p>人家が連担しているため、大型車の交通から発生する交通振や騒音を低減させる必要がある。</p> <p>事業の実施により発生する建設残土の抑制を図るとともに資源の有効利用に努める必要がある。</p>	<p>バイパス部で全線にわたり高齢者や障がい者などにも配慮した段差の少ない歩道を計画することで、通行者の安全を確保するとともに、現道沿いの人家の生活環境(騒音・振動)の改善を図る。</p> <p>他の工事現場より建設発生土を受け入れ、盛土材に使用することにより、再資源化に努める。</p>	4
	水環境・水循環				
	大気環境				
	土壌・地盤環境				
	騒音・振動	○			4
	廃棄物・リサイクル	○			4
	化学物質・粉じん等				
	電磁波・電波・日照				
その他					
地域個性・文化環境	景観		<p>文化財保護法に基づく文化遺産(内里八丁遺跡)がある。</p>	<p>工事着手前に埋蔵文化財調査を実施し、記録保存を行うなど適切に対応した。</p>	
	里山の保全				
	地域の文化資産	○			3
	伝統的行祭事				
	地域住民との協働				
	その他				